

罫線・楕円

1. 概要.....	2
1-1. 線種.....	2
1-2. 色.....	2
1-3. 動的な罫線描画.....	3
2. 直線オブジェクト.....	4
2-1. オブジェクト概要.....	4
2-2. 矢印.....	4
3. 四角形オブジェクト.....	6
3-1. 丸コーナー.....	6
4. 楕円オブジェクト.....	7
5. 罫線オブジェクト.....	8
5-1. 行数・列数.....	8
5-2. 丸コーナー.....	9
5-3. 行数を動的に変更する.....	9

1. 概要

帳票の基本要素である直線や四角形などの罫線を描画するオブジェクトとして以下のものが用意されています。

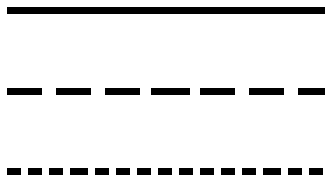
- ・直線オブジェクト
- ・四角形オブジェクト
- ・楕円オブジェクト
- ・罫線オブジェクト

1-1. 線種

罫線系のオブジェクトは全て線の種類を指定することができます。

Create!Form で描画することができる線種は以下の 5 種類です。

図：線種



また、全ての線種において、0.001 ～ 999.999 ポイントの範囲内で線の幅（太さ）を指定することができます。

<< 注意 >>

Screen ランタイムでは、線の幅を小さい値（0.5 ポイント以下）に設定すると線が見えづらくなる場合があります。

1-2. 色

罫線系のオブジェクトは、線の色を指定することができます。また、直線オブジェクト以外のオブジェクトは、内部の塗りつぶしの色を指定することができます。

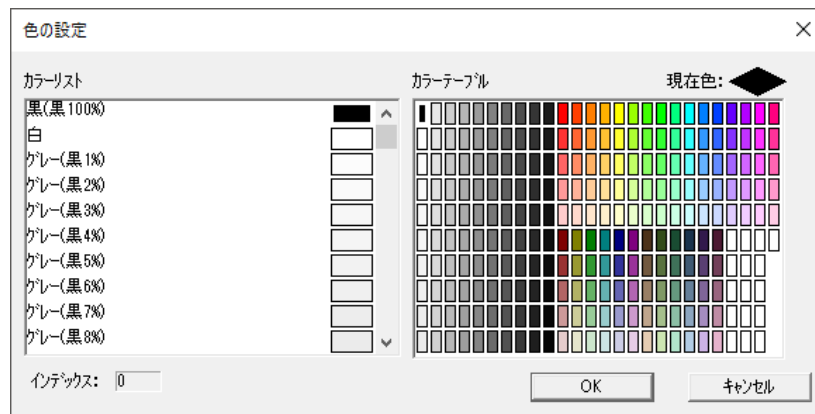
図：線の色と塗りつぶしの色



色は、Form エディタのカラーパレットに登録されている色であれば自由に指定することができます。

カラーパレットについてはマネージャのメニュー [ヘルプ] - [オンラインマニュアル] から「3. 機能リファレンス」-「3.3 フォームオブジェクト」-「動的オブジェクト」をご覧ください。

図：色の設定



1-3. 動的な罫線描画

直線や四角形は、帳票上に固定的に配置するだけではなく、データの内容に応じて表示させたり任意の位置に表示させたりすることができます。たとえば、明細データのある行だけ枠線で囲って、可変行数の表を実現することができます。

これは「動的オブジェクト」機能を利用することで実現できます。

動的オブジェクト機能については、マネージャのメニュー[ヘルプ]-[オンラインマニュアル]から「3. 機能リファレンス」-「3.3 フォームオブジェクト」-「動的オブジェクト」をご覧ください。

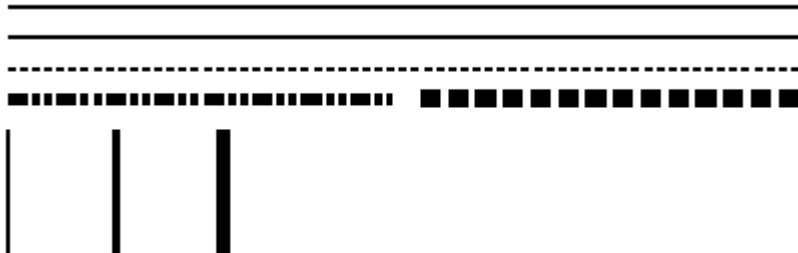
2. 直線オブジェクト

2-1. オブジェクト概要

直線オブジェクトは、直線を帳票上に描画するオブジェクトです。

直線オブジェクトを帳票上に配置すると、全てのページに直線オブジェクトが出力されます。

図：直線オブジェクト



Form エディタ画面上で直線オブジェクトを帳票上に定義する場合は、オブジェクトツールバーにある「直線」アイコンをクリックし、帳票領域上にドラッグ&ドロップして配置します。

図：「直線」アイコン



2-2. 矢印

直線オブジェクトの端点は矢印の形状にすることができます。

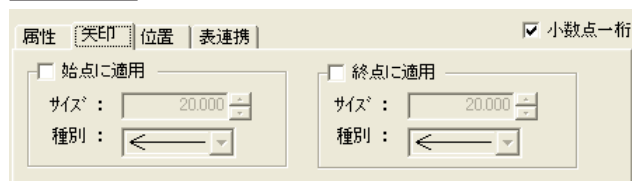
矢印の形状は直線の開始点と終了点で個別に指定することができます。

図：矢印



Form エディタ上では、プロパティ画面の「矢印」タブで設定を行います。

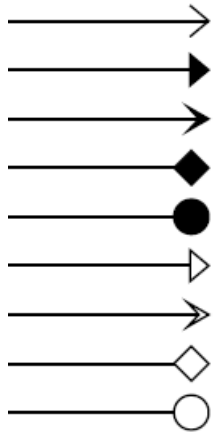
図：矢印設定



〔始点に適用〕もしくは〔終点に適用〕のチェックを有効にすることでそれぞれの端点が矢印になります。

矢印の形状は〔種別〕のリストで以下の9種類から選択できます。

図：矢印形状



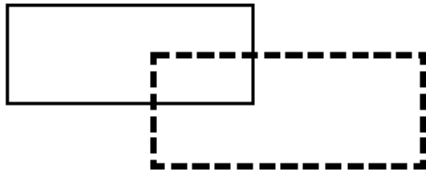
また、矢印のサイズを〔サイズ〕欄に入力して、0.001 ～ 999.999 ポイントの範囲内で指定することができます。

3. 四角形オブジェクト

四角形オブジェクトは、四角形を帳票上に描画するオブジェクトです。

四角形オブジェクトを帳票上に配置すると、全てのページに四角形オブジェクトが出力されます。

図：四角形オブジェクト



Form エディタ画面上で四角形オブジェクトを帳票上に定義する場合は、オブジェクトツールバーにある「四角形」アイコンをクリックし、帳票領域上にドラッグ&ドロップして配置します。

図：「四角形」アイコン



3-1. 丸コーナー

四角形オブジェクトの角は丸めることができます。

図：丸コーナー



Form エディタ上では、プロパティ画面の「形状」タブで設定を行います。

図：形状

属性		形状	位置	表連携
丸コーナー:				
☒	左上	☒	右上	
☒	左下	☒	右下	半径: 5.000

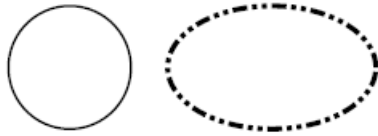
「左上」「右上」「左下」「右下」の中で丸コーナーを有効にしたい場所のチェックを有効にして、角の半径を「半径」欄に 0 ～ 999.999 ポイントの範囲内で入力して指定します。

4. 楕円オブジェクト

楕円オブジェクトは、楕円を帳票上に描画するオブジェクトです。

楕円オブジェクトを帳票上に配置すると、全てのページに楕円オブジェクトが出力されます。

図：楕円オブジェクト



Form エディタ画面上で楕円オブジェクトを帳票上に定義する場合は、オブジェクトツールバーにある「楕円」アイコンをクリックし、帳票領域上にドラッグ&ドロップして配置します。

図：「楕円」アイコン



5. 罫線オブジェクト

罫線オブジェクトは、四角形の枠と直線で複数の行と列を表現する罫線（グリッド）を帳票上に描画するオブジェクトです。

罫線オブジェクトを帳票上に配置すると、全てのページに罫線オブジェクトが出力されます。

図：罫線オブジェクト

Form エディタ画面上で罫線オブジェクトを帳票上に定義する場合は、オブジェクトツールバーにある「罫線」アイコンをクリックし、帳票領域上にドラッグ&ドロップして配置します。

図：「罫線」アイコン



5-1. 行数・列数

罫線オブジェクトは行数と列数を変更することができます。

行数と列数を変更する場合は、プロパティ画面の「行・列」タブで設定を行います。

図：行・列

「行・列」	属性	形状	位置	表連携
☒ 行指定:	行数: 3	☐ 行間隔:	0.001	
☒ 列指定:	列数: 3	☐ 列間隔:	0.001	

「行指定」のチェックを有効にすると、「行数」で指定された行数となるように行を区切る横線が描画されます。

「行間隔」のチェックを有効にすると、1行の高さがその右側の欄に入力された高さになるように罫線オブジェクト全体の高さが自動的に調整されます。このチェックを有効にしていない場合は、1行の高さは罫線オブジェクト全体の高さを「行数」で等分割した高さになります。

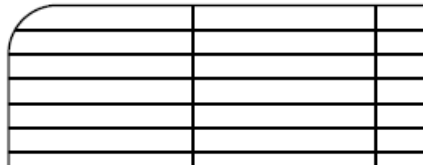
「列指定」のチェックを有効にすると、「列数」で指定された列数となるように列を区切る縦線が描画されます。

「列間隔」のチェックを有効にすると、1列の幅がその右側の欄に入力された幅になるように罫線オブジェクト全体の幅が自動的に調整されます。このチェックを有効にしていない場合は、1列の幅は罫線オブジェクト全体の幅を「列数」で等分割した幅になります。

5-2. 丸コーナー

罫線オブジェクトの角は丸めることができます。

図：丸コーナー



Form エディタ上では、プロパティ画面の [形状] タブで設定を行います。

図：形状

 A screenshot of the 'Shape' tab in the Form Editor's property window. It shows a section for 'Round Corners' (丸コーナー) with four checkboxes: 'Top-Left' (左上), 'Top-Right' (右上), 'Bottom-Left' (左下), and 'Bottom-Right' (右下). All four checkboxes are checked. To the right of these checkboxes is a 'Radius' (半径) field with a value of '5,000' and a small up/down arrow icon.

[左上] [右上] [左下] [右下] の中で丸コーナーを有効にしたい場所のチェックを有効にして、角の半径を [半径] 欄に 0 ～ 999.999 ポイントの範囲内で入力して指定します。

5-3. 行数を動的に変更する

罫線オブジェクトは行数と列数を固定したグリッドを描画するためのオブジェクトです。データ量に応じて動的に行数を増減させるような描画を行うことはできません。データ量に応じて動的に行数が増減するような罫線を描画したい場合は、以下のいずれかの機能を使用することで実現できます。

- ・ 動的オブジェクト機能

マネージャのメニュー [ヘルプ] - [オンラインマニュアル] から「3. 機能リファレンス」 - 「3.3 フォームオブジェクト」 - 「動的オブジェクト」をご覧ください。

- ・ 表オブジェクト機能

マネージャのメニュー [ヘルプ] - [オンラインマニュアル] から「3. 機能リファレンス」 - 「3.3 フォームオブジェクト」 - 「表オブジェクト (表組)」をご覧ください。